

ロジック
の目的

物事に一つで調査して
自分の考えとまとのて
それを相手に筋道立てて
分かりやすく説明できるカ

の
形成

2024年
6月7日(金)
南日本新聞

目に見えないもの

若い目の

① 小宿中3年

榊山 景音

先生から「人を待たせ
るのは人の時間を奪って
いるのと同じ」という話
を聞いて、一つの疑問が
わき上がってきました。
「どうして時間を奪って
も気付かないのか。しか
も、あまり罪悪感がうま
れないのはなぜなのか」
というものです。

② そこで私が考えたの
は、「目に見えないから
ではないか」ということ
です。

③ 人にけがをさせたり、
人の物をとったりした
ら、悪いことをしたとい
う気持ちを持ちやすいで
すが、目に見えないもの
は自覚しにくいです。自
分が気付かないうちに、
誰かを傷つけていること
も多くあるのかもしれない
せん。

よく過ごせる生活をつく
っていきたいです。
(奄美市)

③ だから、私は「目に見
えなくても価値があるも
の」を大切にしたいです。
例えば「時間」「心」「命」。
見えないものにも意識を
向けて、みんなが気持ち

構成を考える

段落の完結性と役割

1 完結性

段落には、「ある話題について書き手の考えを明確・簡潔に整理して表すための基本的な単位」としての完結性（段落ごとにひとまとまりの内容を表す）が必要である。次の点に留意して完結性をもつ段落を目指そう。

深

一 段落一話題一キーセンテンス

あらかじめその段落のキーセンテンスを決め、それに関わる内容だけで一段落を構成し、それ以外の内容は他の段落に移す。

一 段落二〇〇字程度

一般に段落はあまり長くなりすぎないほうがよい。普通は二〇〇字程度の長さの段落が読みやすいときとされている。長くなりすぎる場合は話題ごとにさらにいくつかの段落に分ける。

2 役割

それぞれの段落が「ある結論（意見）に到達するために積み重ねていく一つの単位」として役割をもってしつかりつながりがあったとき、筋道立てて論じることができる。段落の役割、つまり構成の基本は「序論・本論・結論」の三段落構成。物事や私たちの意識の流れは、「はじめ」「なか」「おわり」の三つの部分から成り立っている。段落の作り方においても、これを意識すると、書きやすいし、読みやすい文章になる。

【三段落構成における各段落の基本的な役割】

序 論

何をどのように論じるかを明らかにする。

本 論

なぜ結論（意見）に至るかを論証する。

結 論

論旨をまとめ、意見をはっきり示して、論をしめくくる。

例 文 外見と中身（傍線部はキーセンテンスを表す）

僕は、街などで外見のよくない人を見ると、あまりいい印象を受けない。はつきり言ってあまりかかわりたくないと思ったりもしていた。大部分の人もそのように思ったりすると思う。しかし、そんなことを覆す出来事があった。

先日、病院の待合室で順番を待っていたときに、僕の後に髪の色を染めて、ハデな服を着た人がいた。僕は、あまり目を合わさないようにしていた。しかし、なんとその人がつえをついた足の悪そうな人に、席を譲っていたのだ。僕は、とつてもびつくりして信じられなかった。その時、自分が人を外見で判断していることに気付いた。

良いことをするということは、外見でするものでなく、心でするものである。だから、これからは人を外見で判断するのではなく、中身を見つづけることを心掛けていきたい。

3

短作文(四〇〇字)で問題意識と構成意識を育てる

意見・論説文では、伝えるべき内容と論拠を示しながら筋道立てて述べる論理性が求められる。短作文を書くことで、立ち止まって今を考える方法「報道記事を読む」と、筋道立てて論を展開するための基本「段落の完結性と役割」を学び、新聞投稿に挑戦しよう。

【短作文を書く手順】

1 問題意識を育てる

新聞を使って「立ち止まって考え」、伝えるべき意見を持つ。

2 構成を考える

キーセンテンス(その段階で述べようとする内容を直接表す文・中心文)を意識して段落に完結性を持たせ、「序論・本論・結論」の三段落構成(段落の役割の基本)に従って段落を有機的につなげることによって、筋道立てて論じる。構成表を使って「考えてから書く。」

【字数配分】

序論と結論を簡潔にして本論に十分なスペースをとると安定する。

総字数 四〇〇字	序論 一〇〇字	本論 二〇〇字	結論 一〇〇字
-------------	------------	------------	------------

3 記述する

構成表に基づいてキーセンテンスを確認しながら短作文(四〇〇字)を書く。

4 推敲する

注意して書いても、誤字などのケアレスミスや、ひとりよがりの表現などが出てくる。チェックポイントを使って、他人の文章を読むつもりで見直す。声に出して読んでみて、うまくいかないところは要チェック。友達同士で読み合うのも効果的。

【短作文段階のチェックポイント】

内容	構成	表記・表現
論点 説得力 独自性	段落意識 構成意識	表記・単語 センテンス
自分の問題意識に基づいて切実・明確か。 自分の言葉で語っているか。 感想や常識論で終わっていないか。	それぞれの段落の役割が意識されているか。 序論 序論の型(話題提示・論点提示・意見提示)を正しく使って問題意識を示しているか。 本論 論証の基本要素(具体例→考察・判断)を意識しているか。結論を論証しているか。 結論 現状分析で終わっていないか。 分量は適当か。	原稿用紙のルールを守っているか。丁寧な表記を心掛けているか。 漢字の使い方は適切か。語の誤用はないか。 一文五〇字程度(単文・一文一話題)を心掛けているか。主語と述語は呼応しているか。 敬体(です・ます体)常体(だ・である体)を混用していないか。 接続語・指示語を正しく使っているか。 句読点の打ち方は適切か。

文章研究 (本論の完成(具体例の効果的活用))

「ふだんの小さな会話を大事にしたい」ということを主張するための文章を書こう。
 「書き出し」と「結び」にあうように、
 「題名」は自分の完成させた文章に即してつけなさい。具体例を考えて短作文を完成させよう

論の方向

序論

考察-具体例

本論

意見

結論

No.

話	明	に		言	う	一	う	静	受	了	子	目	と	教	は	な		に		ち
せ	る	す	の	が	ス	言	の	か	を	く	だ	が	も	室	い	い		う		よ
大	く	る	よ	架	皆	の	は	な	し	れ	だ	合	も	に	だ	ウ		る		ッ
事	せ	と	う	け	の	換	勇	交	て	た	た	っ	静	入	っ	ラ		お		と
に	せ	と	に	橋	心	授	気	室	く	。	か	っ	か	る	と	ス		し		し
し	せ	と	に	に	を	が	が	で	れ	。周	私	。前	た	と	に	に		た		た
て	る	と	に	な	明	教	要	初	て	リ	に	日	。そ	他	に	足		と		ひ
い	。ニ	と	に	っ	る	室	っ	対	気	の	笑	の	。そ	を	に	を		と		と
さ	水	と	に	だ	く	全	は	面	持	生	顔	入	。そ	賞	に	踏		か		言
た	が	と	に	の	し	体	す	の	ら	徒	で	学	。そ	え	め	め		か		が
い	ら	と	に	と	た	の	だ	私	か	も	お	式	。そ	い	入	入		ら		ふ
。	も	と	に	確	。私	密	。し	に	明	顔	は	で	。一	る	る	れ		の		だ
	ふ	と	に	信	は	気	か	。お	る	を	は	も	人	。勇	る	の		の		ん
	だ	と	に	し	め	を	し	は	く	上	は	詠	の	気	。勇	は		あ		の
	ん	と	に	て	の	和	か	は	な	げ	は	し	女	持	気	不		あ		の
	の	と	に	い	子	ま	し	は	っ	て	は	て	の	ち	出	安		あ		生
	小	と	に	る	の	せ	か	は	た	次	は	い	が	や	し	で		あ		活
	さ	と	に	。	の	。	し	は	。	マ	は	い	の	周	て	い		あ		中
	な	と	に		ひ	。	か	は	。	と	は	い	の	り	。	っ		あ		の
	会	と	に		と	。	し	は	。	言	は	い	い	と				あ		中

少しの勇氣と一言

組番

↓ 高校入学

20x20

問題 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。〔七〇分〕

ひとつの詩を紹介しましょう

富永房江さんという脳性マヒの女性が書かれた詩です。

「かつてにするな」

不幸な娘だと かわいそうな娘だと

人は私に言うけれど

勝手に決めるな ばかやろう

一目見ただけの人間に何がわかる

私の幸せ知らないくせに

勝手に決めるな ばかやろう

えらいねだとか すごいねだとか

人は私に言うけれど

勝手に決めるな ばかやろう

今、会ったばかりの人間に何がわかる

私の喜び知らないくせに

同情の押し売り 勝手にするな

たいへんだから やってあげますよと

人は私に手を出す

勝手に決めるな ばかやろう

私を知らない人間に何がわかる

私の力を知らないくせに

大きな同情 大きなお世話

困った時は自分の口で

お願いしますとたのむから

それまではほっといてください

勝手に決めるな ばかやろう

(出典：青山良子『福祉の現場で働くあなたに伝えたいこと』川島書店)

問 この詩を題材にしながら、「共感」と「同情」についてあなたの考えを八〇〇字以内(句読点を含む)で述べなさい。

私は、「共感」と「同情」はいつと紙一重
 のものだと思ふ。例えは詩の中にある「たい
 へんた」からや「アアアア」といふ表現も
 言う状況や言ひ方、受けとる人の感性によ
 ても思ひやりがク「同情」へと変わることも
 あると思ふ。

私が小学生のときのクラスメイトに足の不
 自由の子がいた。いつも一人の先生と一緒
 に行動していたが、偶然その子が一人のとき
 に転んでしまったのを見かけた。私はそのと
 き手をさすのべて良いのだろうかと思つたこ
 とがある。その時は、その子と仲の良い子に
 ろかかリつけたいが、私は行くことかたさ
 ない。た。「同情」ととられてしまうのか怖
 かった。たからである。実際にその子は誰かの手
 助けがあつた方が楽に立ち上がることかたさ
 るか、一人であつても立ち上がるかたさ
 ない。そのとき、「はい」といふ手伝うべきなの
 か、とう声をかけるべきなのか、たたのひと
 しての親切心で動くとうとすると迷つてしまつ

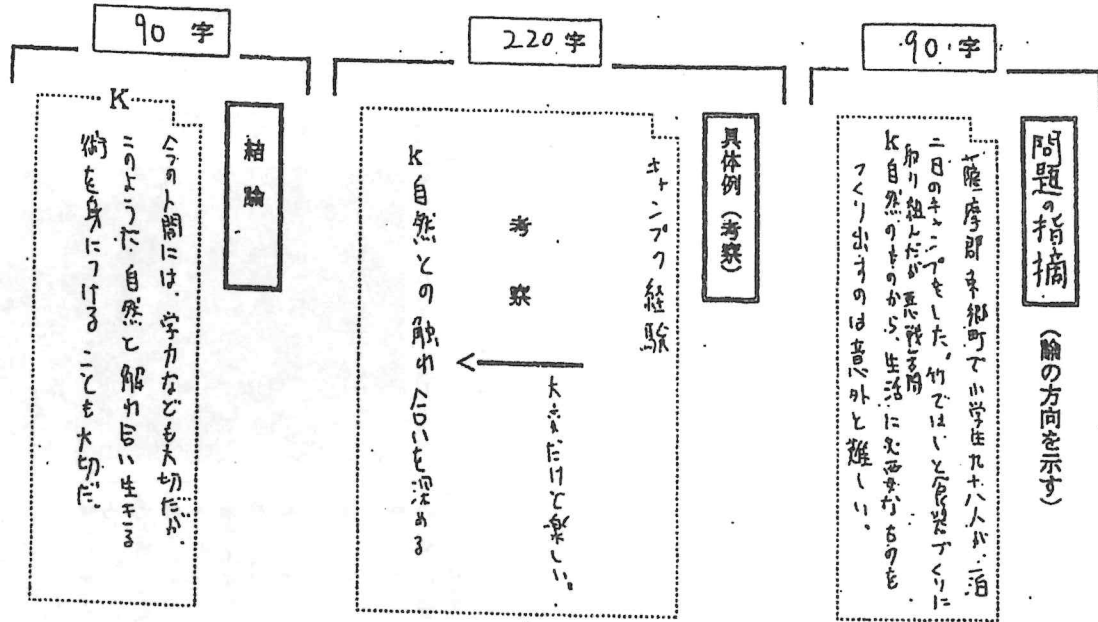
。たか、これは相手か障がいを持つてい
 とか原因ではなと思ふ。自分か相手にい
 たい「共感」でできる立場にいるかの問題であ
 り、自分か「共感」でできるほどの情報を持
 てない相手には「同情」ととられてしま
 う。同じ立場、同じ境遇の人同士であれば「共
 感」として素直に受けとれることも、遠う立
 場であれば一気にたたの「同情」になつてし
 まうことかある。

「共感」と「同情」は同じものであり、自
 分の持つている情報、経験によつてどちらに
 もなりうる、まさに紙一重の關係にあるもの
 だと思ふ。

600字。

構成表「本論を一つで書く場合」

タイトル 原始的な生活



K
このように自然と触れ合っている
術を身につけることも大切だ。

結論

K 自然との触れ合いを深める
←
大まかにだけと察し、

具体例(考察)

具体例(考察)

二日のキャンプをした。竹ではいと食器はテントに
加り組んだが、自然との触れ合いは、生活に必要なものも
K 自然のものから生活に必要なものも
フクリ出すのは意外と難しい。

問題の指摘

(論の方向を示す)

K k
必要に応じて
キーセンテンスを置く

段落の役割

400字

不定

内容をもっと示す
(論点)が明確

◎記入の仕方

タイトル

No.

原始的な生活

薩摩郡東郷町の山中で小学生九十人が一泊二日のキャンプをした。竹ではいと食器はテントに組み加り組んだが、自然との触れ合いは、生活に必要なものもフクリ出すのは意外と難しい。私も小さい頃、父たちとキャンプをしたことがあり、テント張りやまき捨いなど見た目より大変なことばかりだがなかなか楽しい。そして、何よりも大自然の中で生きていくという感じがして、とても気持ちがいい。この中で、はきはきしていくために精神一杯覚悟する野生動物になったような気になさる。私たちは普段、簡単に食べ物を手に入れられる。住む場所もある。だから、このように自然と直接触れ合う機会がなくなっている。私たちが人間には学力などの知識はもちろん必要であるが、このように自然と触れ合いながら生きていくための術を身につけることも大切だ。術を身につけることも大切だ。

「原始的生活」

(自己評価)

四百字～六百字の評価・推敲の観点(構成面)

被評価者「」 「番氏名」

評価者「」 「番氏名」

内	成									評価・推敲の観点	判定
	⑩ 題名(タイトル)のつけ方は適切か	⑨ 一読して説得力があるか	⑧ 結論(意見)に独自性があるか	⑦ 結論(意見)は自分の言葉で書いているか	⑥ 本論の記述は結論の根拠として十分か	⑤ 本論の具体例は効果的に使われているか	④ 各段落の字数は適当であるか	③ 各段落の役割ははっきりしているか	② 各段落はキーワードが明確であるか		
一言アドバイス(右の評価の観点で具体的に注意したいこと) 序論のキーワードがわかりづらかったのでもう少し工夫したりいいのではないだろうか。 本論での具体例で何よりも大自然の中で生きていくという気がしてとても気持ちがいい。くしとあるけど、もう少し具体的に何がそう思わせるのかを書けばいいと思う。	Ⓐ	Ⓐ	A	Ⓐ	Ⓐ	A	Ⓐ	A	Ⓐ		
	B	B	Ⓑ	B	B	Ⓑ	B	B	Ⓑ		
	C	C	C	C	C	C	C	C	C		

この文章を相手に分かりやすいように、具体的に書く